

オリンピック憲章と人間学

国枝タカ子（茨城大学教育学部）

〔研究計画〕

- 4月 オリンピック憲章の根本原則（1条～9条）の研究
）
- 6月 同上、第1章「オリンピック・ムーブメント」の研究
）
- 8月 同上、第2章「国際オリンピック委員会」の研究

- 9月 シドニー・オリンピックのデータ収集および
バルセロナ大会、ベルリン大会、ロサンゼルス大会の検討

- 10月 古代オリンピックにみられる人間像
） ・競技（アゴン）する人間
- 11月 ・デルフィの神託と競技

- 12月 同上 ・オリンピア祭の構造と競技の種類
） ・パン・アテナイ祭の特徴
- 3月 まとめ オリンピックと人間
スポーツによる国際交流と平和への寄与

〔報告〕

平成11年10月30日に開催された「オリンピック講演会」（茨苑会館）の成果を踏まえて、2000年はオリンピック（シドニー大会）イヤーでもあるので、プロジェクト研究を行なった。

まず、現在のオリンピックを制度として規定している「オリンピック憲章」を、原文の英語とフランス語で読解しながら、詳しく検討した。特に理念を提示している「根本原則」と「第1章のオリンピック・ムーブメント」について。さらにシドニー大会がはじまるので、データ収集を行なった。

また過去から「3大会」をピックアップして、人間・環境の観点と戦争・平和の観点から調査、検討した。

後半は古代ギリシャにおけるオリンピックと人間像の研究である。そのイデオロギーである「アゴン」（競争）については分析を詳しく行ない、古代文化の諸点に、アゴンがどのように展開したかを調べた。3月には、まとめと報告書を作成をする。